

一般質問

町民体育館について

答弁：2階に階段式の観客席を設置するのは、建物の構造上、困難である。



岩根 環議員

《岩根議員》

岩崎スポーツセンターが廃止・解体されることにより、町民体育館及び武道館の使用頻度が高くなると予想される。町民が普段使用しているスポーツ活動、各種大会のほか、毎年11月に開催される卓球大会では、選手150人前後、家族や応援者含めると総勢300人〜400人程度の収容人数となり、大半の方は2階で応援しているが、長時間の立ち見は疲れ、床に座って応援している状況が多く見受けられる。

岩崎スポーツセンターのように、町民体育館の2階に観客席を設けることができないか。

《町長》

町民体育館は昭和54年3月に建設され、今年で40年が経過し、その間2度にわたり、屋根葺き替え、外壁撥水塗装、暖房設備整備、耐震改修工事を行ってきたが、建物の老朽化は進んでいる状況にある。

町民体育館の2階ギャラリー



▲ 2階ギャラリーに設置している長椅子

ーは、大会等があった場合、選手の休憩場所として、放送室・倉庫へ向かう両側通路は、観覧・応援する場所として利用されているが、幅が1・4メートルしかなく、建物を支える柱が数本あることから、観覧するには狭い状況である。そのため、現在解体中の岩崎スポーツセンターのような

階段式の観客席を設置することは建物の構造上、困難である。

現在、町民体育館2階の両側通路のフェンス前とギャラリーのフェンス前に長椅子を2個ずつ計4個設置している

が、大きな大会等を実施した際、その長椅子が不足しているようなので、購入について検討していきたい。



▲ 試合を観覧してる様子

## 追良瀬橋について

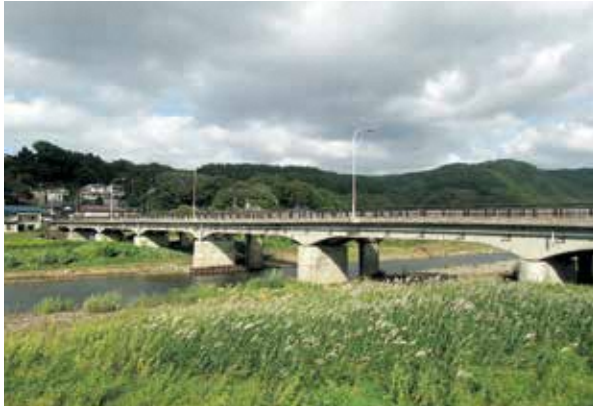
### 《岩根議員》

8月10日(土)東奥日報朝刊に「全国の橋、トンネル老朽化点検」の結果が掲載され、青森県内でも6977か所ある橋を点検し、そのうち、老朽化が進み修繕が必要な早期措置段階が840か所、落橋など事故発生の恐れがある緊急措置段階は青森市の1か所ほか3か所は南部地域であった。

そこで、当町の追良瀬橋は緊急措置段階に入っていないが、どの段階なのか伺う。

### 《町長》

橋梁点検については、2012年の中央自動車道笹子トンネル天井崩落事故(山梨県)を踏まえ、5年に一度の点検が道路管理者に義務付けられ、2014年〜2018年がその一巡目に当たり、全国



▲追良瀬橋

の橋梁約71万6千箇所の判定が行われた。

当町の追良瀬橋は、1959年に延長149メートル、幅員6・7メートルで架けられたコンクリート橋で、2017年7月に点検が行われた。判定区分は「健全」「予防保全段階」「早期措置段階」「緊急措置段階」の4段階に分かれており、結果は「早期措置段階」に位置付けられ、県では現在、補修等の対応を検討していることを確認している。

## 追良瀬バイパスについて

### 《岩根議員》

追良瀬バイパス2期工事の1工区、2工区の進捗状況を伺う。

### 《町長》

現在、追良瀬バイパス2期工事として、1工区(轟木側から追良瀬川をまたぎ国道101号までの約1・6キロメートル)と2工区のうち一部区間(国道101号から通称カナシキの崎までの約0・7キロメートル)の事業が行われている。

1工区については、塩見崎地区の精米所奥の沢筋に計画している橋梁上部工架設工事に着手しており、令和2年12月までの工期となっている。

2工区については、現在JR東日本と境界確定を含めた用地測量と、一部用地取得に着手している状況である。

また、追良瀬バイパス2期工事の完成時期については、

県の財政状況等にもよることから明言はできないが、町としても、今後とも県と密に連携を図り、1日も早く開通できるように努めていきたい。



▲追良瀬バイパス2期工事1工区



▲追良瀬バイパス2期工事2工区(カナシキの崎まで)